

都女薬だより

発行所: 東京都女性薬剤師会 ・ 発行人: 近藤由利子 東京都豊島区池袋 4-34-1
? 03-3987-5078 Fax 03-3987-5647 E-mail: joyaku@japan.email.ne.jp

No.43
平成 20.7.10



都女薬の発展を期して

東京都女性薬剤師会
会長 近藤由利子

暑さの時期、世の中は後期高齢者医療制度・少子化問題、地球の温暖化・地球環境の問題と暗い話題が多い昨今です。都女薬は学術振興を通して、女性薬剤師の資質の向上に努めると共に、男女共同参画事業の推進を図っています。本年度も通信教育講座「診療ガイドライン薬剤コース」、学術講演会、移動セミナー、助成金事業、薬学部との共同教育研修講座開催検討、ケンタッキー大学薬学部との国際交流事業推進（見学・研修）全国女性薬剤師交流会等の事業を展開しています。会員の皆様のご理解と積極的なご参加をお願い申し上げます。

日本女性薬剤師会総会報告

6月21日（土）平成20年度日本女性薬剤師会総会が開催され、今年度の事業等決定しました。詳細は次回に報告します。

東京都女性薬剤師会総会報告

平成20年5月25日（日）
14:30より女性薬剤師会館2階会議室において平成20年度東京都女性薬剤師会総会が開催されました。

はじめに近藤会長よりご挨拶があり、次いで平成19年度会務並びに事業報告、監査報告、さらに平成20年度の事業計画案、予算案について決議しました。最後に特別講演で三宅順子理事より、「高齢者における食物と薬の相互作用に関する文献研究」の発表がありました。

【男女共同参画推進事業】

日本女性薬剤師会 2008年度学術講演会報告

平成20年6月22日（日）星薬科大学のメインホールにおいて、有限責任中間法人 日本女性薬剤師会主催の日本女性薬剤師会学術講演会が開催されました。

今回は、「一緒に考えよう！最新のアンチエイジング - 美しさを保つための栄養・肥満の臨床研究報告 - 」をテーマに行われ、はじめに厚生労働省 医薬食品局総務課 薬事企画官 関野秀人先生より行政からの医薬品の安全対策についてお話しがありました。続いてAACクリニック銀座副院長の浜中聡子先生、自治医科大学付属病院栄養部の宮本佳代子先生、聖マリアンナ医科大学代謝・内分泌内科の田中 逸先生より、アンチエイジングを肥満、メタボリックシンドロームという観点から捉えて、お話いただきました。まさに時を得た話題で、大変勉強になり、テキストも大変参考になります。

日本女性薬剤師 連盟だより

私たちが全力を挙げて展開した選挙戦は残念ながら、時に利あらず、藤井氏の再選はなりません。その後、昨年9月、日薬連盟が藤井もとゆき氏を統一候補として推薦を決め、後援活動を再開しました。藤井もとゆき氏も元気に再起動し、全国各地の行脚を再開されています。調剤報酬改定・後期高齢者医療制度等、様々な批判の声が出ており、専門分野での議員活動がどうしても必要だと痛感しています。

藤井もとゆき氏の出番が待たれます！！

注：藤井もとゆき氏の最近の様子については、「藤井もとゆきホームページ」(<http://www.mfujii.gr.jp/>)をご覧ください。

研修会等のお知らせ



都女薬では、各種研修会でご提出いただいているアンケートのご回答を出来るだけ反映させながら、研修会を運営しております。男性の方・未就業の方・大学院生のご参加も歓迎しております。

【特別公開講座（前期スクーリング講座）】

通信教育講座を受講していない方にも、前期スクーリング講座を公開しております。新しい方向性をテーマとしていますので、どなたにも興味を持っていただけます。

日時：平成20年9月28日（日）10：00～16：00
会場：星薬科大学 本館第二ホール（2階）
東京品川区荏原2-4-41 ? 03-3786-1011

テーマ：難治性疾患で望まれている新薬への期待

演題1：リウマチ治療新時代における

抗リウマチ薬の展望

演題2：難しい筋肉の病気治療へのアプローチ

演題3：世界の痴呆薬の動向

受講料：5,000円（都女薬会員は4,000円）

取得単位：日本薬剤師研修センター認定3単位

託児：3～10歳（低学年のお子様）、ベテランの保育士がお世話します。

【秋期講座】

日時：平成20年10月26日（日）10：00～16：00
会場：星薬科大学 新星館 202, 203号室（2階）
東京品川区荏原2-4-41 ? 03-3786-1011

テーマ：在宅医療に向けた薬剤師の新たな役割

演題1：【基礎講座：解剖と疾患】

三叉神経痛を理解するための解剖学

演題2：疼痛からの解放

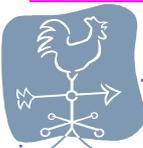
モルヒネの使い方 know-how

演題3：褥瘡のケア 薬からのアプローチ

受講料：4,000円（都女薬会員は3,000円）

取得単位：日本薬剤師研修センター認定3単位

託児：3～10歳（低学年のお子様）、ベテランの保育士がお世話します。



会員の声

傘の花咲く季節ですね…。現在、私はメダカの飼育をしています。何の愛想もない川魚ですが最高の癒しであり、また夜遅くメダカに愚痴を言っています（メダカにとってはいい迷惑でしょうけど）…。やはり、愚痴の内容は仕事のことです。私の薬局はある一般企業の新規事業の一部で、その部長が薬剤師について愚痴をこぼすのです。「薬剤師は我慢ができない」「賃金が高い割には働かない」「言うことは立派だよね」「勉強しているの？」等…。言い返す言葉が見つかりません。確かに当薬局の勤務・パート薬剤師は一部を除いて、お金目当ての人、暇だからという人、その人達に講習会等を紹介してもお金がかかるとか、時間がない等理由を言われ、諦め、そして部長の言葉の再認識。都女の活動を見たり、参加したりして私自身、薬剤師への可能性の大きさを実感する傍ら、このような一握りの薬剤師達で世間の評価を下げている悔しさを話しかけているのです。しかし「薬剤師への評価を変えよう！」「もっと頑張らなくちゃ！」という明日への希望をも持たせてくれるのです。

メダカに感謝！

国岡 薫



日本病院薬剤師会よりお知らせ

都女薬では日本病院薬剤師会と連携を組んで活動しています。

医薬品医療機器情報配信サービスをご存知ですか？

新聞紙上で、血糖測定用の微量採血のための穿刺器具本体の複数人使用について話題になっています。通知が現場まで行き届かなかった事が伺えます。多くの情報があふれる中、必要な情報を見分け、確実に伝達するのも安全管理を担う薬剤師の大切な仕事です。

そうは言っても、情報の洪水のなか、重要な情報が漏れなく収集するのは大変です。

医薬品医療機器情報配信サービスは、医薬品医療機器総合機構が行っている、無料のメール配信サービスで、医薬品・医療機器の安全性に関する特に重要な情報が発出された時に、タイムリーにその情報が配信されます。組織での登録となりますが、一組織複数人の登録が可能です。

<http://www.info.pmda.go.jp/info/idx-push.html> から、登録できますので、ぜひ一度御覧ください。

『編集後記』

昨年、ベストセラー第1位となった「女性の品格」の著者である昭和女子大学学長の坂東眞理子さんが、最新刊、凜とした「女性の基礎力」を発行されました。本の中で自分の目で世の中を見て判断し、自分で行動する「見識」を持つこと、それが「女性の基礎力」だと書かれています。機会がありましたらお読みになってはいかがでしょうか。坂東先生の講演も考えています。